

JAL争議は解決していない 会社は解決を実行しろ

ユニオンネット平和センター 2022年9月9日
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-15-9武蔵野ビル2F
TEL : 03-5577-7262 mail:miyakawa@sinsyakai.or.jp

滑走路を外れたような解答は着地はできない



【JAL本社抗議アクション】

◆毎週月曜日に続けているJHU(JAL被解雇者労働組合)のJAL本社アピール行動は、9月12日、12時本社スカイウオークで始まった。当該組合員、支援者が駆けつけ、山田さんの司会で始まった。

◆JHU山口委員長

山口委員長が吠えた。「滑走路を外れたような解答は着地はできない。私たちは安全な翼を求めています。解雇撤回争議は続いています」。



【当該組合員決意】

◆平井さん（JHU組合員）

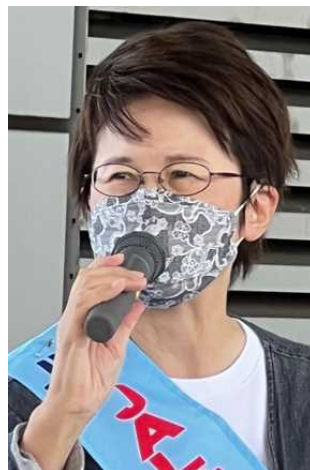
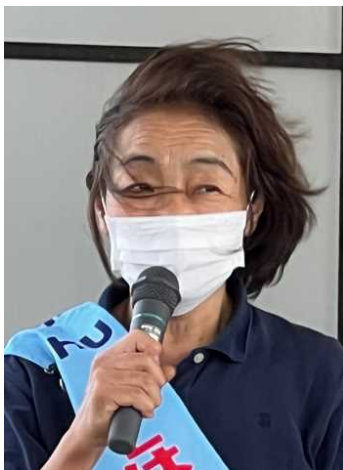
9月11日神奈川労連の定期大会があり、山口委員長と出席しました。その加盟する労働組合が山口さんにインタビューした記事が一面に掲載されました。FBなどにも投稿しています。参照してください。そして、神奈川県内の労働組合を回り、私たちの闘いの報告をしています。「まだやっているの？」等々、JAL争議の行方を知らない人も多いです。もっともっと、私たちの闘いを知らしめ、早期解決目指していきます。

◆小栗さん（JHU組合員）

私も解雇された165名の一人です。この間、いろいろな情報が飛び交いましたが、私たちの争議は解決していません。それでも、社内でのJALからの情報は流れ「争議は解決した」等が通知されていると聞いています。私たちが闘っている存在を知らされておられません。だからこそ、私たちが毎週ここに来て「争議解決」を訴えています。私たちは、解雇された者が納得できる回答を望み、交渉を含めています。今日のような行動をして皆さんにお訴えをしています。ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

◆宝地戸さん（JHU組合員）

私たちの解雇撤回の争議は解決していません。JHUは争議を続けています。私たちの要求は「希望する人の職場復帰と損害を保証する解決金」です。この要求がかなえられないのであれば、争議は継続をいたします。私たちの争議が解決しなければ、日本航空の空の安全は保たれません。そもそも、二労組と争議解決をしたという、解決の提案はJHUには提示されませんでした。私たちは解雇されました。、「雇用によらない」解決などありません。会社は私たちに、具体的提案もありません。全面解決目指して頑張っています。皆さんのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



◆JHU山崎書記長

日本航空の社員の方に訴えたいです。「航空会社は決められたマニュアルの他に、レギュレーションを守る。レギュレーションに書いていないことは、機長の下に最善の判断で運航をします。2010年12月31日に行った解雇は、決められたレギュレーション(法律、労働法)を破って解雇を断行してきました。このようなことを日本航空は行ってきました。日本航空の経営破綻はショックでした。そしてその責任が労働者に転嫁されました。会社の経営が根底にあり全く理不尽です。JALには人権方針があります。会社の理由によって整理解雇した者は、会社の再建計画から、新たに採用するときは、整理解雇者を優先雇用をするILO166号勧告があります。会社は人権方針を反故にして、2012年に客室乗務員、パイロットを大量に新採用をしました。長きにわたり解決をしない。これはひとえにJALの経営姿勢にあります。赤坂社長の「早期に解決したい」と述べている。社長の決断してから2年も3年も経過している。なんでこんなにかかるのでしょうか?「社会問題になっているJAL争議」をなんとしても解決する。私たちは頑張ります。



◆9月20日(火) 11:00~12:00 JAL団体交渉@日航羽田整備ビル

10:15~10:45 整備ビル前宣伝行動 モノレール整備場駅から5分

◆9月21日(水) 12:00~13:00 国交省前宣伝行動

◆9月26日(月) 10:00~都労委調査 JAL

11:00~都労委調査 国土交通省 都庁38階南側 都労委